

インバウンドを中心としたタクシー利用客の長蛇の列が発生していたことから、前回大会よりタクシーによる乗合輸送、区域外特例輸送等を実施。今回大会においても更なる増強策を展開し、効率的な運行を実施した。

運行概要(R8.3.27～3.29)

【乗合輸送】

- 白子駅 ⇄ 鈴鹿サーキット【**白子駅⇒サーキットは今回より新規運行**】
(運賃)1,500円/人 (対応) 白子駅⇒鈴鹿C：鈴鹿市内の4事業者
鈴鹿C⇒白子駅：北勢交通圏+津交通圏の16事業者
- 鈴鹿サーキット ⇒ 名古屋駅【**今回より新規運行**】
(運賃)15,000円/人 (対応) 北勢交通圏+津交通圏の13事業者

【区域外輸送】

- 隣接する津交通圏の5事業者が協力支援(※鈴鹿市は北勢交通圏)

対応事業者の声

【良かった点】

- ・乗合輸送が非常に効率的な対応となった。乗合運賃も利用者からは好評で、定額であることから安心して利用頂けた。
- ・昨年度よりも輸送力が拡充され、参加各事業者の協力で早い時間に対応を終了することが出来た。

【要改善点】

- ・利用者への情報提供・事前周知(乗合運行であること、一部車両は現金対応のみ等が十分に理解されていなかった)に課題あり。
- ・周辺道路に渋滞が発生すると、輸送力が低下してしまう。

来年度に向けて

- ・今年への対応(各方面への乗合運行、区域外輸送)を今後の基本的対応スタイルとし、参加事業者数を拡充することを検討する
- ・レース終了後に発生する相当な渋滞に対して実行しうる対応策を関係機関と協議する
- ・利用者に対するより良い情報提供をのあり方を検討する

運行実績

※3日間の実績値を合計したもの

	白子 ⇒ 鈴鹿C	鈴鹿C ⇒ 白子	鈴鹿C ⇒ 名古屋	鈴鹿C ⇒ 各方面
対応車両数	208両	337両	111両	400両
運送回数	1,024回	849回	122回	699回
輸送人員	4,071人	3,363人	407人	1,213人

※各方面の主な行先：京都(13回)、大阪(11回)、四日市(51回)、津(47回)等々

※名古屋、京都等の長距離利用はインバウンドが大部分

タクシー観客輸送 現場対応の様子

鈴鹿サーキット乗り場の様子



【サーキット乗り場 行先別案内表示】



【サーキット 乗車待ち列】



白子駅乗り場の様子

